※令和４年度以降入学生用

学校番号	2004

令和５年度　芸術科

教科	音楽	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、「わからないことやできないことをそのままにせず、どうすればよいかを自ら考えて行動する」ことを重視しています。その上で、音楽のすばらしさをさまざまなアプローチで体感し、他者とのかかわりのなかでひとつのものを作り上げていく達成感をあじわってほしいと思います。また、授業で知ったいろいろなことは、ほんの入口に過ぎません。ここから自分の好奇心と行動力で掘り下げ、より深い「音楽の世界」を探求してください。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。

（２）　自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

（３）　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	合唱	混声合唱の響きを味わおう 「ぼくはぼく」	a:曲想を歌詞が表す情景や心情とかかわらせて感じ取り、それらを生かして表現するために必要な技能を身に付け、創造的に表現している。 b: 各パートの役割や音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら創意工夫している。 c:各パートの役割や音の重なりなどに関心を持ち、全体の調和を考えながら主体的に歌おうとしている。また、共通のイメージを話し合いながら作り上げ、楽曲にふさわしい合唱表現を協働的にしようとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・相互鑑賞 ・テスト後の振り返りシート	・授業観察 ・グループでの討論と、その発表の様子 ・相互鑑賞
	歌唱	イタリア歌曲に親しもう 「Caro mio ben」	a:楽曲から感じ取ったイメージを表現するために必要な発声、発音、呼吸法などの技術を身に付けている。 b:言葉と音楽との関連や音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きが生み出す特質を感受しながら音楽表現をし、イメージや表現意図をもって歌っている。 c:歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心を持ち、イメージを持って主体的に表現しようとしている。また、演奏者による表現の違いに関心を持ち、主体的に鑑賞しようとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・相互鑑賞 ・テスト後の振り返りシート	・授業観察 ・テスト後の振り返りシート ・相互鑑賞

※令和４年度以降入学生用

２学期	器楽	創作も取り入れたギター弾き語りをしよう 「翼をください」	a:曲の特徴をとらえてギターの弾き歌いをするために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。 b:ギターの音色や奏法の特徴を理解し、それらを生かした表現ができるように創意工夫している。また、表現意図を持って創意工夫し、弾き歌いをする。 c: ギターの音色や基本的な奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かした表現を目指して意欲的に演奏し、弾き歌いをしようとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・相互鑑賞 ・テスト後の振り返りシート ・創作メモ	・実技テスト ・相互鑑賞 ・テスト後の振り返りシート
	アンサンブル	表現を工夫してアンサンブルをしよう 自由曲方式	a:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。 b:音楽を形づくっている要素と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:曲想と歌詞が表す情景や心情とかかわりに関心を持ち、共通のイメージをもって楽曲にふさわしいアンサンブルをする学習に主体的に取り組もうとしている。	・発表会	・発表会 ・練習記録用紙	・発表会 ・練習記録用紙 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	創作	ジャズに親しみ、編曲に挑戦しよう 「枯葉」	a:ジャズの奏法などの特徴を理解し、その特徴を生かした旋律やリズムづくり、音楽構成などを考えるために必要な創作の技能を身につけ、創造的に表現している。 b:表現したい音楽をイメージして音楽構成などを考え、どのような音楽をつくるかについて表現意図を持ち、音楽表現を工夫している。 c:ジャズの仕組みや使われる楽器の音色や奏法の特徴などを理解し、表現したいイメージに合ったフレーズやリズムを編み出す学習に主体的に取り組もうとしている。	・発表会	・発表会 ・練習進捗状況用紙 ・グループ内での討論メモ	・発表会 ・練習進捗状況用紙 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度